

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪国際学園松下町校地 新中高	階数	地上4F
建設地	大阪府守口市松下町	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	1,503 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,750 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年6月11日
敷地面積	5,749 m <sup>2</sup>	作成者	古田 大介
建築面積	2,533 m <sup>2</sup>	確認日	2020年6月12日
延床面積	7,990 m <sup>2</sup>	確認者	森 雅章



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

音環境	3.6
温熱環境	2.0
光・視環境	3.7
空気質環境	3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性	3.7
耐用性	3.1
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

建物外皮の	5.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.5
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

水資源	3.4
非再生材料の	4.1
汚染物質	3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.4
地域環境	2.8
周辺環境	3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	建物全体が学びの空間となることをコンセプトとしている。外構には授業に関係のある樹木を植樹し、散策路を設け、自然と親しみながら学習できる環境を設けている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	吸音材の採用やF☆☆☆☆の採用により室内環境の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内緑化に努め室外環境に配慮している。
LR1 エネルギー	高効率設備を採用し省エネルギーに配慮している。	LR3 敷地外環境 LCCO <sub>2</sub> 排出量削減に配慮している。
Q2 サービス性能	耐震性への配慮、耐用年数の長い材料の使用等建物の耐用性に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	省水型機器、再利用可能部材等の採用により省エネ、省資源に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0042

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪国際学園松下町校地 新中高新築工事【校舎棟】						
	建設地	大阪府守口市松下町						
	用途/区分	学校(小中高)						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.5	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							